

Fig.1

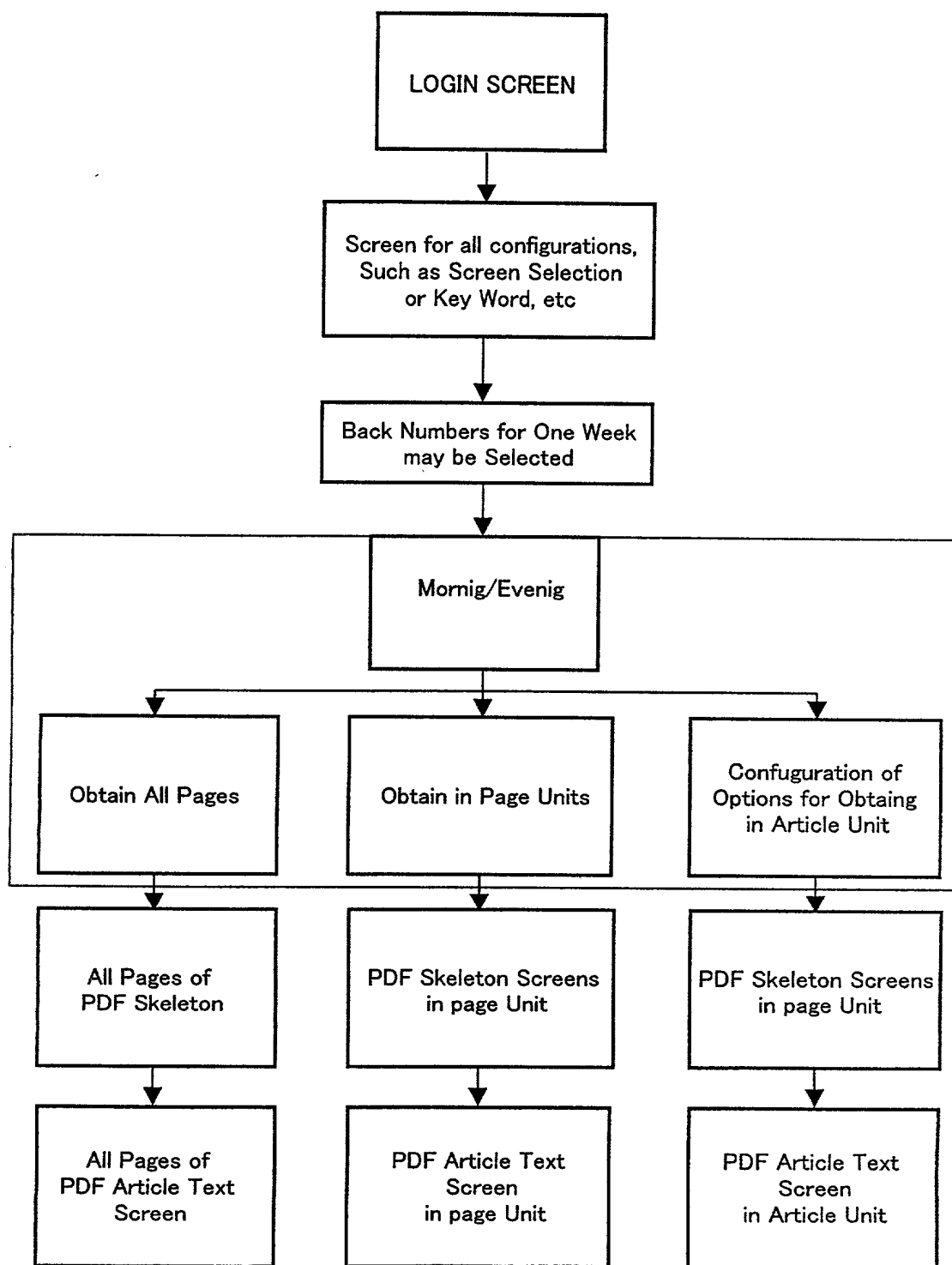


Fig.2

[illegible]

Fig. 4



12/14 12/13 12/9

EVENING

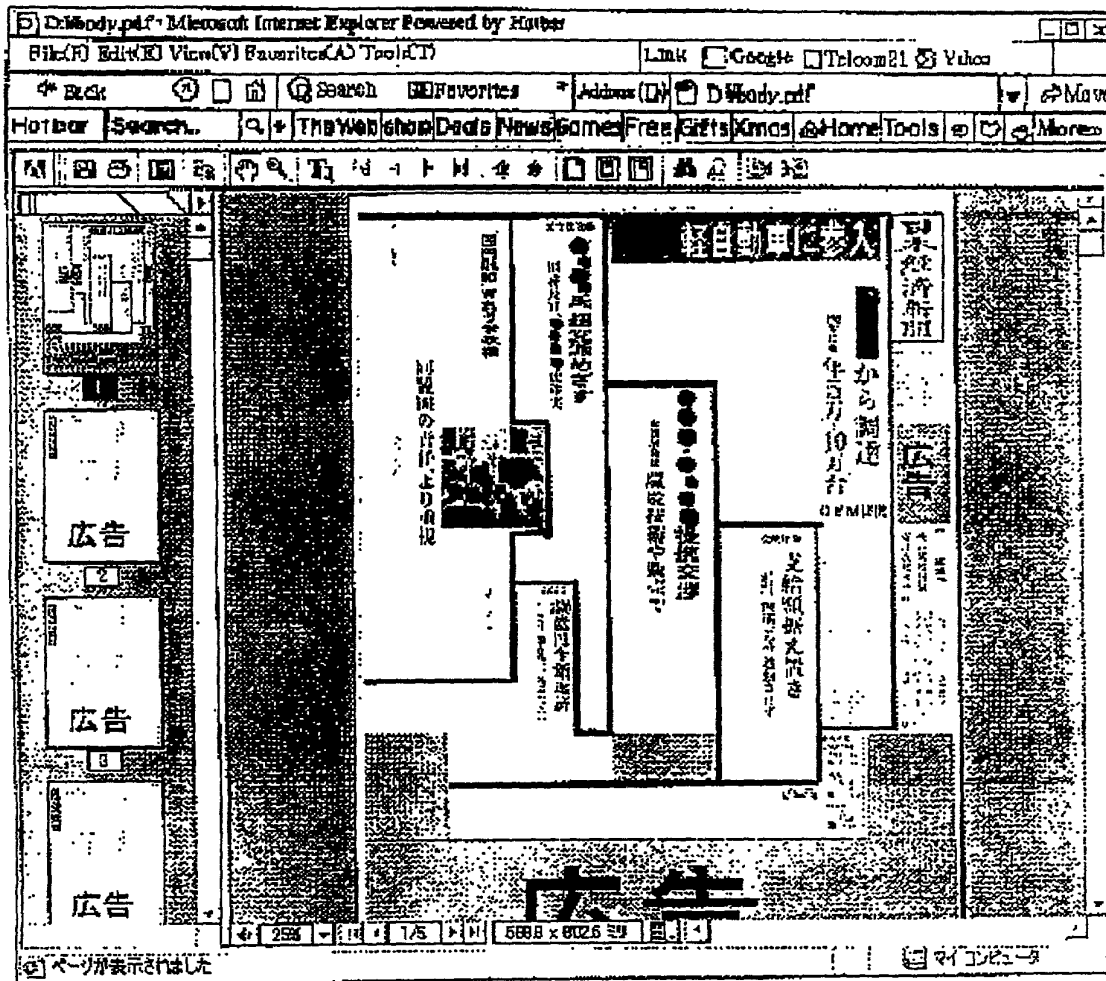
聖自赴車仁魯人

DOWNROAD

株の価値制限
東証が緩和へ

「株主の利益を保護する」として、東証が株の価値制限を緩和する方針を示した。これにより、株の価値が下落した場合、株主の利益が保護されることになる。また、株の価値が下落した場合、株主の利益が保護されることになる。また、株の価値が下落した場合、株主の利益が保護されることになる。

Fig.5



10010735 120704

Fig.6

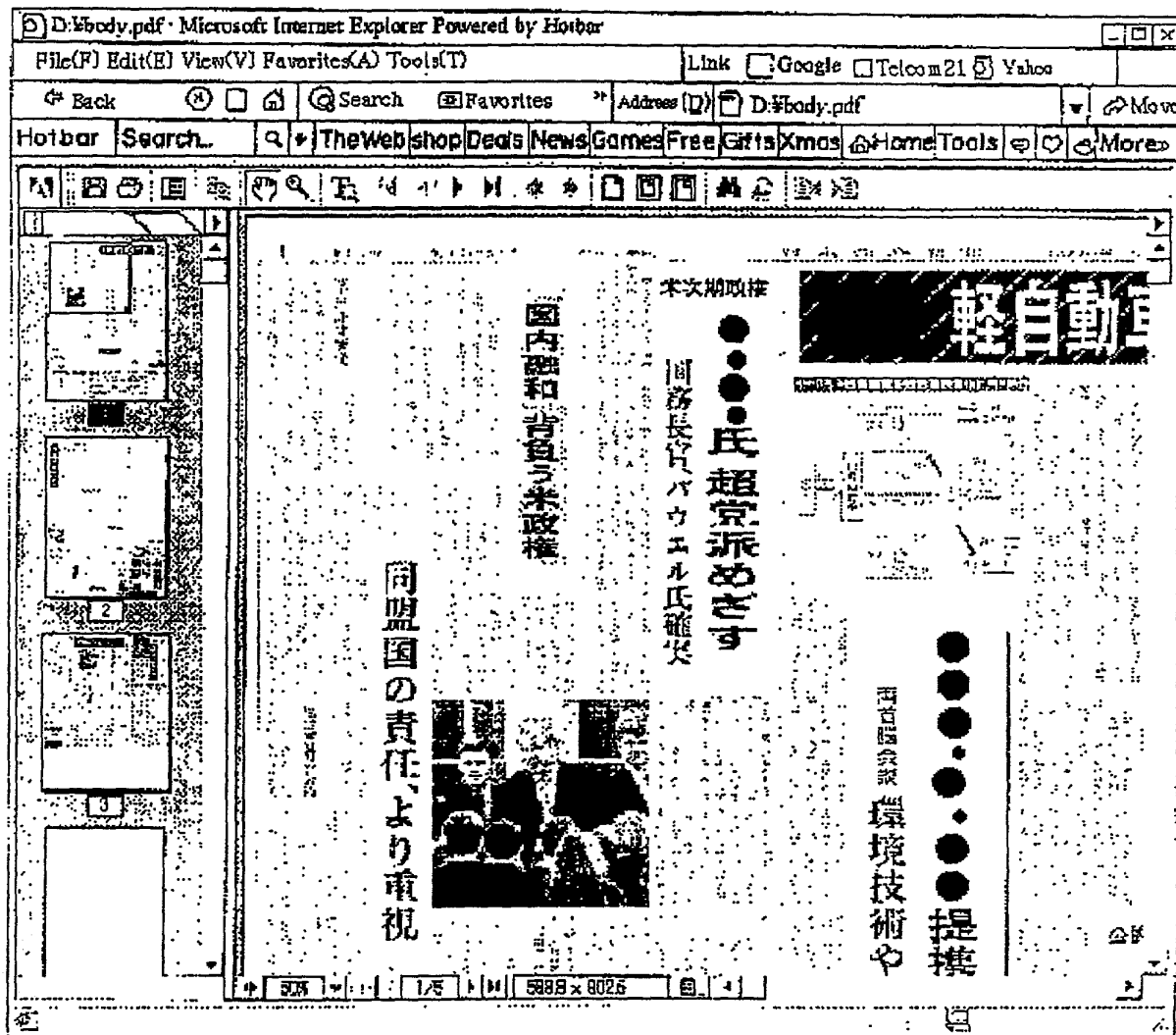


Fig.7

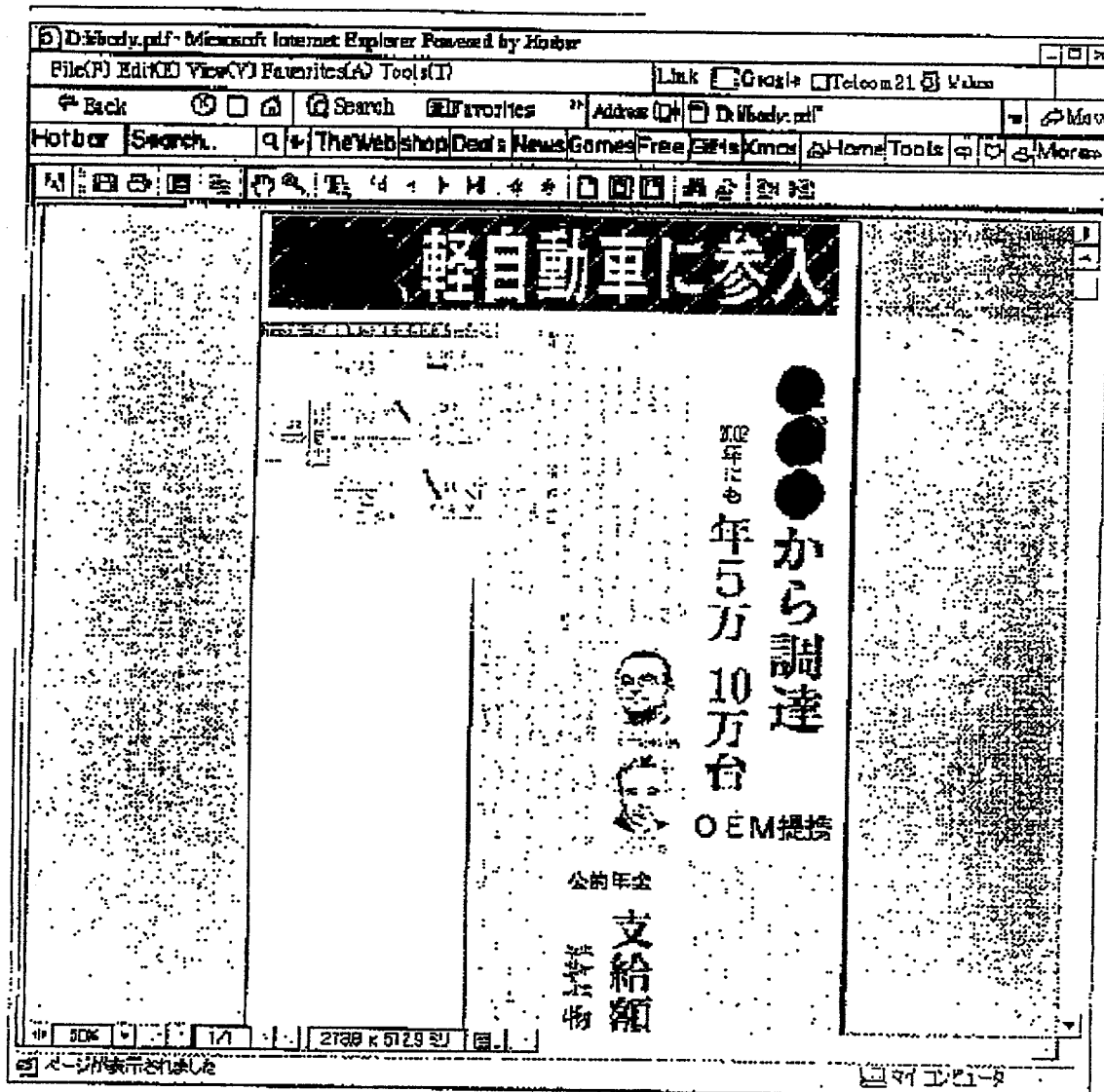


Fig.8

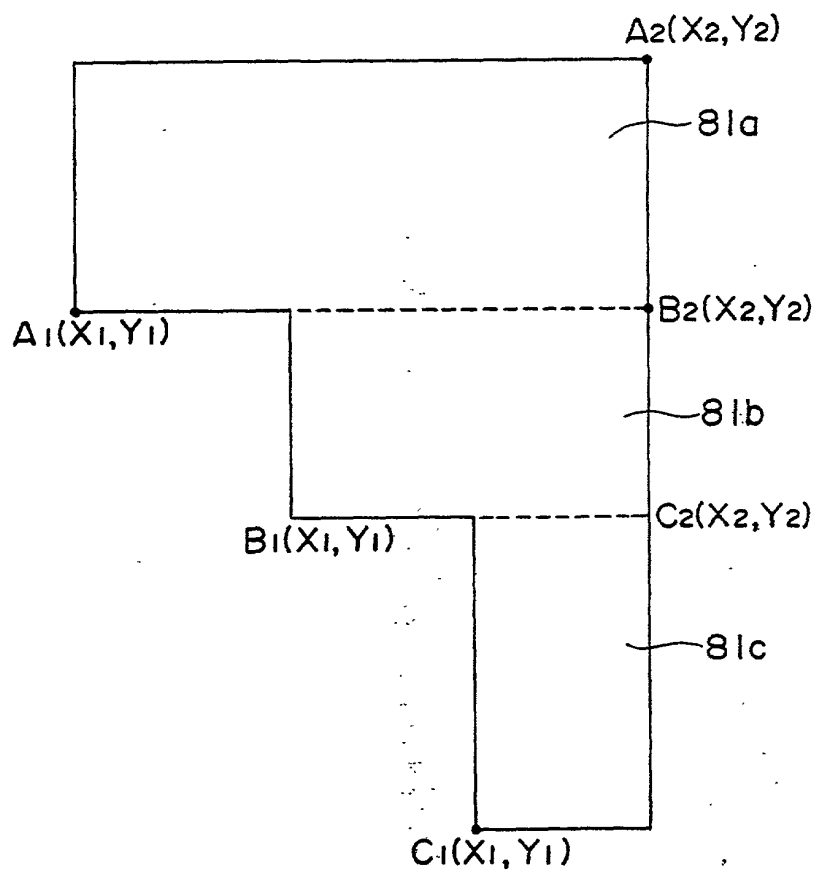


Fig.9

日本經濟新聞社

Article Text Display (In Text Format)

●●to become supplier, OEM alliance, 50,000-100,000 vehicles by date of article insertion 2000/12/15

●●●自動車は●●●と提携し、軽自動車市場に参入する。
●●●からOEM(相手先ブランドによる生産)供給を受け、二
〇〇二年にも発売する方向で調整を進めている。販売規模は
年間五万~十万台となる見通し。●●●自動車、●●●技研工業
に比べ売れ筋車種の不足に悩む●●●は、●●●と組むことで
国内新車市場の三割以上を占める軽自動車市場に進出。一
定の販売量を確保し、系列の販売会社も含め経営基盤を固
める。●●●はOEM事業の拡大による量産効果でコスト競争
力の強化が見込める。燃費効率が高く低公害の軽・小型のス
モールカー分野は世界的にも需要拡大が見込まれ、同分野を
巡る合従連衡が加速しそうだ。(軽自動車は「きょうのこは」
参照) 三関連記事13面に

●●●同社は現在、軽ワンボックスカーや軽乗用車を対象に提携の具体策を詰めている。●●は初期段階として月間五千台前後を調達し、販売すると見られる。生産するのは●●●の湖西工場(静岡県湖西市)になる見通し。

設計段階から生産工程を含め低コスト化を徹底的に進めて商品化する軽自動車は、通常の乗用車とは異なる特殊な生産ノウハウが必要。リストラを最優先課題に掲げる●●にとって自力で新規に開発、量産するのは困難で、軽自動車最大手の●●と組むことで投資負担や事業リスクを軽減しながら新規参入する。